

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金

1 事業の成果

攪乱要因除去事業では、サンゴの生息環境改善のため、農地からの赤土流出防止等の事業を行った。

そのうち「サトウキビの株出し推進による赤土流出防止事業」は、当法人の前身である「石西礁湖自然再生協議会 石西礁湖サンゴ礁基金」の発足時から続けてきたが、平成29年度は実施することができなかった。沖縄県平成29年度赤土等流出防止活動支援事業補助金の助成を受けて実施する予定であったが、悪天候のため収穫が遅れ、補助対象となる2月末までの実施が困難であったことから、見送ったものである。

「様々な手法による農地からの赤土流出防止事業」では、特にサトウキビの夏植え栽培での赤土対策が重要なため、雨水等の地下浸透を促進することにより赤土流出を防止するサブソイラー作業の支援を行った。

「環境保全型農業の推進事業」では、農地の末端への防風林の形成を目指し、ツバキの苗を植えた。成長後は、防風林や赤土流出対策の効果のほか、種から油を搾り収益を得ることも期待している。

広報啓発事業では、前年度に引き続き、「石垣港みなとまつり」「石垣島まつり」等において、石西礁湖の現状・自然再生の必要性・当法人の活動等について、住民等の理解を深めるための活動を行った。

また、「畑と海をつなぐサンゴのまつり」を、28年度に続き、崎枝公民館、「石垣島をもっと元気にするプロジェクト（芝浦工業大学学生）」との共催で行った。赤土流出の少ないサトウキビ株出し栽培の苗補植体験などを通じ、農地における対策、一般に陸域からの環境負荷を減らすことがサンゴ礁再生のために重要であることを広く知ってもらうことを目指した。環境省石垣自然保護官事務所の協力、石垣市赤土等流出防止営農対策地域協議会の後援を得たほか、八重山農林高校の生徒たちがスタッフとして加わり、多くの方の参加があった。

環境教育では、市内3高校の高校生を対象として、サンゴ礁保全のための赤土対策の必要性と手法等について、外部講師を招き、特別授業を行った。また、小中学生を対象とする環境教育を行う団体の支援を計画し、中学生を対象とする生物多様性の学習を支援した。生徒たちが、将来におけるサンゴ礁保全・再生活動の担い手として育つことを期待している。

赤土流出防止事業の大部分と高校生を対象とする環境教育は、沖縄県平成29年度赤土等流出防止活動支援事業補助金の助成を受けて実施した。

WWF ジャパンと協働し、29年度から調査研究・モニタリング等事業として行うこととした「サンゴ認定制度構築へ向けての調査研究」については、29年6月に意見交換会を開催したほか、関係者への聴き取り調査を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
攪乱要因除 去事業	オニヒトデ駆除 (実施しなかった)	—	—	—	—	0
	サトウキビの株出し推 進による赤土流出防止 (実施しなかった)	—	—	—	—	0
	様々な手法による農地 からの赤土流出防止	平成29年 10月～ 30年1月	石垣島内 サトウキ ビ畑	3人	サトウキビ農家 14人 住民、観光客等多数	250
	環境保全型農業の推進	平成29年 5月～ 30年3月	石垣島内 農地	2人	農家、住民、観光客 等多数	28
良好な環境 創成事業	実施しなかった					
持続可能な 利用に関す る事業	実施しなかった					
調査研究・モ ニタリング 等事業	サンゴ認定制度構築へ 向けての調査研究	平成29年 4月～ 30年3月	石垣市内	5人	住民、観光客等多数	10
広報啓発事 業	地域イベント等におけ る広報啓発	平成29年 7月～ 30年3月	石垣市内 会場等	20人	住民、観光客等 400人	143
	地元小中高校生対象の 環境教育	平成29年 5月～ 30年2月	石垣市内 等	11人	地元中高校生 141人	643
その他目的 を達成する ために必要 な事業	実施しなかった					

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	事業費の 金額 (千円)
物品等販売 事業	実施しなかった				
イベント等 開催事業	実施しなかった				
印刷物等へ の広告掲載 事業	実施しなかった				
商標等の提 供事業	実施しなかった				